

2012年12月3日

発酵槽上部スラブの亀裂事故のその後について

躯体構造の健全性及び事故原因を確認するための調査を行いました。

その結果、今回の事故は発酵槽に付属している安全装置の設計に不備があり、槽内のガス圧力の上昇時にガスと同時に発酵液に含まれる固形物が流入して閉塞したことが原因とであると判断しました。またこれらの調査にはコンクリート躯体構造の専門家にアドバイザーをお願いしました。これにより躯体構造には問題がないことが確認されたので、残った発酵槽は安全装置の改造工事を行い、試運転を経て少しずつ受入量を増やす予定です。

また亀裂が起きた発酵槽は上部スラブの修復工事に着手致しました。順調に工事が進めば来年3月までには試運転を行う計画としています。

以上